

# 第3回 地域包括ケア時代における薬剤師の役割を考える会

2018年8月2日（木）19:00～20:50

名古屋マリオットアソシア 16階「サルビア」

〒450-6002 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-4 052-584-1111

謹啓

時下、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて2015年9月、総務省統計局より「統計からみた我が国の高齢者」が発表され、80歳以上の人口が初めて1,000万人を超えたと取り上げられました。さらには2025年には総人口の4人に1人が75歳以上の後期高齢者となるとされています。世界のどの国にも経験したことのない超高齢化時代を迎えるにあたり、さらなる準備が必要です。今回は「2025年問題」を見据えながら、「薬薬連携」「投薬方法」をテーマに、学術講演会を企画させて頂きました。ご多用の折とは存じますが、是非ご臨席賜れば幸いです。

謹白

Drug Information 19:00-19:10

適正使用情報 情報提供 第一三共株式会社

Opening Remarks 19:10-19:15

名古屋第二赤十字病院 薬剤部 薬剤部長 木下元一 先生

Lecture 1 19:15-19:45

座長 名古屋第二赤十字病院 薬剤部 薬剤部長 木下元一 先生

**「施設間情報共有の取り組みについて」**

国立病院機構長良医療センター 薬剤部 脇田恵里 先生

Lecture 2 19:45-20:45

座長 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 教授 山田清文 先生

**「秘めたるやさしさを持つ剤形とは？」**

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門


教授 倉田 なおみ 先生

Closing Remarks 20:45-20:50

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 教授 山田清文 先生

当日は情報交換会を予定しております。

ご施設名、ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。ご記帳いただいたご施設名、ご芳名は医薬品及び医学薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主催  第一三共株式会社  
後援 簡易懸濁法研究会